

I 教育目標	
<p>人間尊重の精神を基調とし、知性と感性にとみ、心身ともにたくましく、主体的に行動し、地域社会や国際社会の進展に貢献できる人間性豊かな児童の育成をめざして次の目標を設定する。</p> <p>○よく考える子 ○思いやりのある子 ○健康な子 ○最後までやりぬく子</p>	
II 経営方針	
目指す学校像	<p>「子どもの権利条約」の4つの約束（1. 命を守られ成長できること 2. 子どもにとって最もよいこと 3. 意見を表明し参加できること 4. 差別のないこと）を遵守し、「江東区子供の権利に関する条約」に基づき、児童にとっての最善の利益を第一に考え、児童の主体性を育む。そこで、以下の4つを目標に教育活動を展開していき、「みんな輝く！」の実現を図る。</p> <p>○安心・安全な学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が安心して学び、生活できる学校 ・校舎内外の安全を確保するとともに、安全教育を推進する学校 ・保健衛生の管理が行き届き、健康的な学校生活ができる学校 <p>○確かな学力を身につける学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究等における授業研究を通して、児童の学力を高める授業を進め、1人1台端末を有効に活用することができる学校 ・生涯にわたって学ぶ意欲と学力の基盤が育つ学校 ・こうとう学びスタンダードを計画的に定着させる学校 <p>○やさしさを育む学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての教師が子どもの心に寄り添うことができる学校 ・子供同士の温かい人間関係や地域の方々との交流が活発で温もりを感じる学校 ・子供も教師も地域も活気があり、自校を誇りに思える学校 <p>○きまり・ルールを守る学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神を基本とした社会性・きまりある生活・規律ある集団行動のとれる秩序の保たれた学校
目指す児童像	<p>○自他の生命を尊重して自己の安全を守る児童</p> <p>○自ら課題を発見して、課題解決に向けて主体的に行動する児童</p> <p>○自ら進んで心身を鍛え、健康で明るく、豊かな感性をもった児童</p> <p>○社会の一員としての社会性や道徳性をもち、自らを律することができる児童</p>
目指す教師像	<p>○児童の心身の健康の増進・安全の保持に取り組む教師</p> <p>○児童の学びの質を向上させるために、指導技術を自ら向上させることができる教師</p> <p>○地域コミュニティの活性化に貢献する教師</p> <p>○インクルーシブの精神を尊重し、児童に寄り添い、多面的かつ深い児童理解に努める教師</p> <p>○心身共に健康で、常に児童と元気に接することができる教師</p>
経営理念	<p>1 児童の安全・安心を最優先に進める学校</p> <p>①ユニバーサルデザインに基づき、清潔・安全に配慮された教育環境を整備する。</p> <p>②児童の心の安定を図るために、担任、学年、専科、SC、関係機関との連携を含めた体制の充実を図る。特に専科を含めた学年組織を大切に、児童を多くの目で育てる組織とする。</p> <p>③「いじめをしない・させない・許さない」を基本におく。また、いじめが発生した際に、いじめ対策委員会を核とし、関係機関と連携して迅速かつ組織的に解決対応にあたる。</p> <p>2 主体的、対話的で深い学びを進める中で、探究的な学びができる学校</p> <p>①本校の研究に基づいた授業スタイルの検証を確実に進め、学力向上につなげる。</p> <p>②教材研究の質を高めるために、教科担任制、交換授業等の推進を図る。</p> <p>③学年組織を活用した研究推進ならびにOJTを推進し、日常的に教材研究を充実させる。特に若手の育成に重点を置き、「自ら学ぶ1校目研修」の充実を図る。</p> <p>④こうとう学びスタンダードの定着を図るために、定着度調査を分析し、授業改善推進プランに生かしながら定着強化を進める。また一人一台端末を授業改善や自学推進に生かしていく。</p> <p>3 児童・保護者・地域の誇りになる学校</p> <p>①地域連携の推進、家庭・地域の教育力を生かした教育活動をより充実させていく。そのために、コミュニティスクールにおける学校運営協議会との連動をより一層強化していく。</p> <p>②児童が相互に認め合えるよう、異学年交流や仲よし学級との交流等を生かしながら、自己肯定感や自己有用感を育む実践を重ねていく。</p> <p>③基本的な生活習慣の定着を図り、「あたりまえのことがあたりまえにできる」児童の育成を目指す。特に挨拶と靴揃えは全校で共通して徹底し、本校の伝統としていく。</p> <p>④地域コミュニティを生かしながら愛校心を高め、児童が自校を誇りに思えるようにしていく。</p> <p>4 教育公務員としての自覚をもち地域・保護者から信頼される学校</p> <p>①ライフステージや職層に応じた研修を推進していく。</p> <p>②教育外にも研修の場を広げ、グローバルで時代の要求にあった能力・技術を高める。</p> <p>5 組織力のある学校</p> <p>①主幹・主任教諭を中心に意思決定の流れを明確化にし、組織的な学校運営を進める。</p> <p>②役割を認識し、校務分掌、会議を効率的に行い、必要に応じ年度内でも組織改編も行う。</p> <p>③情報の共有化、課題の共有化・明確化を進め、組織的課題解決を行う。</p>

Ⅲ 経営目標

重点領域 1		安心・安全・環境が整備された学校
中期経営目標	事故の減少、アレルギー事故ゼロを推進、児童の危険に対する意識の向上を図り、安心して通わせることのできる学校にする。	
短期経営目標	けがや事故の分析を進め、校舎の施設点検、安全指導、児童の生活指導に反映させる。また、児童主体の安全教育を通して、児童の危険に対する意識を高める。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	児童が主体的に学ぶ安全学習を行い、児童の危険に対する意識の向上を図る。また、月に一度の交通安全指導を確実に実施する。	安全指導の内容を理解し、学級活動や保健学習や総合の時間等で学んだことで「危険に対して意識して行動することができる」と回答する児童が85%以上になるよう目指す。
2	学校生活全般において安全について見守り体制（該当学年の教員が2名以上付く、隙間時間を作らない）を確実に行うとともに、学習時間も含め、児童の所在が明確になるようにして、事故の発生を防ぐようにする。また、	施設・設備に関して「学校は、けがをしないように努力している」と回答する児童が95%以上になるよう目指す。また、休み時間のけがの発生件数、前年度比90%を目標とする。
3	アレルギー事故を無くし、マニュアルの徹底、各担当の連携、研修を年3回実施する。また、発生時における報告・連絡・相談体制を確実に機能させる。	100%の児童がアレルギー事故への関心をもち、誤食、誤配等を全児童で無くす。

重点領域 2		生涯にわたって学び続ける基盤の育成
中期経営目標	各学年、専科で決めた教科について授業研究を深め、児童の表現力を高められるようにする。また、教科担任制、交換授業等を通して、教師の指導力を向上させ、学力の向上を図る。	
短期経営目標	全ての学習活動において、表現力を高めることを視点においた授業を展開する。また、一人一台端末の活用はほぼ毎時間行うとともに、教科担任制は確実に、授業交換は積極的に行う。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	管理職による年3回の授業観察では、「教師も児童も楽しいと思える」学習を展開し、授業の質を高める。その中で1人1台端末はマストで活用する。	「進んで学習することが楽しい」と回答する児童が95%以上になるようにする。また、「授業が楽しい」と回答する児童が90%以上となるようにする。
2	4年生以上の教科担任制（国語、社会、理科等）を確実に実施するとともに、1～3年生の授業交換等も積極的に行い、教材研究の深化を図るとともに、学習における児童の実態をより多角的に分析できるようにする。	教科担任制、交換授業を通して、児童の該当教科に対する興味関心を高めるようにする（社会、理科、体育等が好きと答える児童85%以上）。
3	こうとう学びスタンダードの定着を図る。特に学び方スタンダードの確実な定着を図るため、学年会等で、その定着度を随時確認していく。	「声の大きさを考えて、丁寧な言葉遣いで話す」「話している人を見て、最後まで静かに話を聴く」ことができる児童90%以上を目指す。
4	校内研究等を通して、児童のもてる能力を高める授業改善に努める。また、朝読書の確実な定着を図るとともに、図書ボランティアによる読み聞かせの充実も図る。3回の朝読書の時間を教師も確実に行うなどして、読書活動の充実も図る。	「学習（勉強）することが好き」と答える児童が80%以上となるようにする。また、読書好きの児童90%以上を目指す。
5	授業や家庭学習において、1人1台のPCを活用した学習を全学年で積極的に取り入れ、日常的に活用できるようにしていく。特に自学での活用について充実を図っていく。	1人1台のPCを活用し、「できた、わかった」と感じる児童95%以上を目指す。

重点領域3		心の教育の充実
中期経営目標	心の教育を推進し、児童相互の好ましい人間関係・児童と教師の良好な人間関係・地域の方々との交流が活発で温かい雰囲気のある学校にする。	
短期経営目標	いじめの撲滅、不登校の減少を目指す。また、全校で教育相談を意識した指導を進め、児童の自己有用感を高める。さらに、地域と連携しながら愛校心をさらに高め、自校に誇りがもてる指導を推進する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	朝のあいさつ運動の実施（年5回以上）、廊下でのあいさつの励行など、全校であいさつ運動を進める。その中で、教師が積極的にいつでもどこでも挨拶をし、児童の手本となるようにする。また継続して玄関の靴揃えにも取り組む。	「すすんであいさつできた」を回答する児童が95%以上を目指す。また「靴揃えがいつもできている」と回答する児童が85%以上を目指す。
2	教室の整理整頓、シンプルな教室掲示を心がける。また、すべての児童に対して、児童のありのままを受け止め、児童の心に寄り添い、児童と共にいる時間をできるだけ多く確保しつつ、学年組織を生かしながら、個々の児童に応じた多面的で深い児童理解ができるようにする。	児童アンケートで、「学校生活が楽しい」と回答する児童が、全体の95%以上を目指す。
3	「いじめについて考える一日」を実施し、児童、家庭・地域への啓発を進める。また、年3回のいじめ予防研修を確実に実施する。さらに、いじめ予防に関わる児童会の活動も推進し、児童主体の活動を展開する。今年度も二砂中と連携したいじめ防止の取組を実施していく。	「先生は自分の話をていねいに聞いてくれる」と回答する児童が80%以上を目指す。また、児童主体のいじめ防止の活動により、「いじめはゆるさない」意識を高まったと答える児童90%以上を目指す。
4	開校70周年で行った学習を生かすとともに、地域との連携をさらに強化しながら、児童が自校に誇りがもてるような指導を継続して推進していく。	児童アンケートで「第五砂町小学校が好きだ」と回答する児童95%以上を目指す。

重点領域4		体力向上の推進
中期経営目標	体力向上を保護者・地域と連携して進める学校	
短期経営目標	体力向上プランに基づいた体力向上の推進と、体力向上プランの常時点検による工夫・改善を進める。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	継続して体育の授業改善を進め、できる喜びを味わえるようにしながら、進んで運動しようとする態度を育成する。中学校体育教師経験のあるスタンダード講師を活用し、運動好きな児童を育てる。	「運動することが好き」「できるようになって楽しかった」と回答する児童90%以上を目指す。
2	体力強化週間を年3回以上設け、児童の運動能力の向上を図る。また、その結果を具体的な数値として表せるようにしていく。また、本項独自の目標値を設定して取り組む「ながなわチャレンジ」の活動も生かしながら、主体的に運動に取り組む児童の育成を図る。	「進んで運動に取り組むことができた」と回答する児童90%以上を目指す。
3	生活習慣の改善を保護者・地域と連携して進めるために、年間2回の生活リズム定着週間を設ける。また養護教諭を核とした保健指導の充実も図る。	「健康な生活ができるように心がけている」答える児童90%以上を目指す。